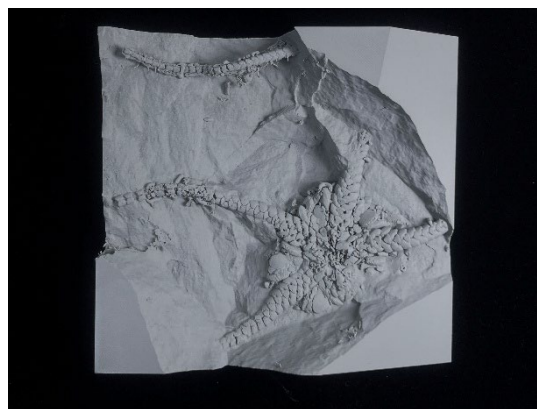


令和8年 7月28日	
資 料 提 供	
県立自然博物館	
担当者	学芸課長 小原
電話	073-483-1777

県内で発見された新属新種のクモヒトデ化石

和歌山県内から発見され、北九州市立いのちのたび博物館に収蔵されていたクモヒトデ化石について、当館も参加した共同研究によって新属新種とされ、「エナコスファルマ・ナガシマイ」と命名されました。国内産のクモヒトデ化石としては2例目の新属で、近畿から初めての新種のクモヒトデ化石の報告となります。また、和歌山県内の白亜紀の地層からクモヒトデ化石が発見されたのは初めてであり、大変貴重です。



写真：展示されるクモヒトデ化石のレプリカ

今回、実物標本のCTスキャンデータを元に3Dプリンターで作製されたレプリカ（3倍拡大）が北九州市立いのちのたび博物館より当館に寄贈されましたので、展示いたします。

展示内容

- 名称 エナコスファルマ・ナガシマイ（学名：*Enakosphalma nagashimai*）
ハクモヒトデ目 アヤマチクモヒトデ科
*「ナガシマイ」は化石の発見者である永島^{つぎと}二人氏にちなむ
- 産地 和歌山県有田郡有田川町久野原
- 地層と時代 外和泉層群二川層 中生代白亜紀後期（約7,000万年前）
- 発見者 永島^{つぎと}二人氏（故人）
- 展示物 3Dプリンターで作製したレプリカ（3倍拡大）他 合計6点
- 展示期間 2026年7月31日（金）～2026年9月16日（水）
- 展示場所 第2展示室内の話題のコーナー
（実物標本は北九州市立いのちのたび博物館にて7月31日より展示）

〒642-0001 和歌山県海南市船尾370-1

和歌山県立自然博物館

TEL:073-483-1777

FAX:073-483-2721

<https://www.shizenhaku.wakayama-c.ed.jp>

mail: postmaster@shizenhaku.wakayama-c.ed.jp



記載論文

- 1 論文タイトル A new brittle star (Echinodermata: Ophiuroidea) from the uppermost Cretaceous of Wakayama Prefecture, Japan provides insights on deep-sea colonization by the extant family Ophiosphalmidae (和歌山県の上白亜系からの新たなクモヒトデ（棘皮動物：クモヒトデ綱）が提供する現生アヤマチクモヒトデ科の深海への進出に関する洞察)
- 2 発表雑誌名 Paleontological Research (パレオントロジカル リサーチ、日本古生物学会発行英文誌)
- 3 発表日 令和8年7月2日
- 3 論文 URL <https://doi.org/10.2517/prpsj.250009>
- 4 主な著者の所属
石田吉明(東京都在住)、レア・ナンバーガー・トゥイ (Lea D. Numberger-Thuy) (デビルズゴージ恐竜公園 [ドイツ]、ルクセンブルグ国立自然史博物館)、ベン・トゥイ (Ben Thuy) (ルクセンブルグ国立自然史博物館)、御前明洋(北九州市立いのちのたび博物館)、小原正顕(和歌山県立自然博物館)、三上智之(国立科学博物館)、藤田敏彦(国立科学博物館)

研究の経緯

- | | |
|-----------------|---|
| 1994 年 4 月 9 日 | 福岡市の化石収集家、故永島二人氏が和歌山県有田川町内で化石を採集。 |
| 2008 年 | 永島氏のご遺族より永島氏の収集資料約 2600 点が北九州市立いのちのたび博物館に寄贈される。 |
| 2014 年 | 北九州市立いのちのたび博物館の御前明洋学芸員が寄贈標本の整理中にクモヒトデ化石の存在に気づき、国内におけるクモヒトデ化石研究の第一人者である石田吉明博士に連絡を取り、研究を開始。 |
| 2015 年 | 御前学芸員、石田博士と共に当館の小原学芸員が、クモヒトデ化石の産出地において調査を行う（追加標本の発見はできず）。 |
| 2024 年以降 | 共同研究者にレア・ナンバーガー・トゥイ博士（デビルズゴージ恐竜公園 [ドイツ]、ルクセンブルグ国立自然史博物館）、ベン・トゥイ博士（ルクセンブルグ国立自然史博物館）、三上智之博士（国立科学博物館）、藤田敏彦博士（国立科学博物館）を加え、マイクロ CT スキャンによる観察も行い、論文を執筆。 |
| 2026 年 6 月 16 日 | クモヒトデ化石の拡大レプリカが当館に寄贈される。 |
| 2026 年 7 月 2 日 | 論文が公開される。 |